初動対応

1．職場の対応
2．本部の対応
3．地域貢献

前提条件

まずは代表的なケースで（例）

平日15:00
・突然に大きな揺れ（震度6強程度）。
・3分後に気象庁から津波警報。
　・太平洋岸は大津波警報
　・三河湾は津波警報
・湾内の津波警報は12時間後に解除

時系列で

・～30分程度で
・～日暮までに
・～翌朝までに
・～翌日中に

～30分

～日没

～翌朝

翌日～

屋外避難か屋内待機か？

郊外の工場など

・屋外避難を行うことが一般的である。
・建物内は設備の転倒や部品の落下など混乱しており余震の恐怖もあり建物内にとどまることは難しい。

都心のオフィスなど

・建物の耐震性が確保されるならば屋内待機が原則
・オープンスペースもなく車道は渋滞でかつ緊急車両が走行、歩道は窓ガラスや看板等の落下物で危険。

余震に対してどこが安全か？

状況設定

・15:00、強烈な揺れが1～2分
・海溝型地震と思われる（津波）
・停電、断水
・
・大きな揺れは収まったが・・まだ揺れている
・建物は倒壊せず、被害は小さそうだ。
・設備・什器が転倒、散乱し負傷者が多数
・1名重傷
・煙も上がっている
・
・点呼したら行方不明者がいる

・津波警報解除まで12時間と仮定

直下地震では不要

想定外をなくせ

地震発生後の皆さんの行動は？

・別途検討ケースの例：建物が全壊したら？

職場の初動フローの洗い出し　1／4

1）地震発生から30分以内（目安）

職場	本部	気付き
内勤者　外勤者 ・・・・　・・・・ ・・・・　・・・・ ・・・・ ・・・・		・・・・ ・・ ・・

・15：00、強烈な揺れが1～2分
・海溝型地震と思われる（津波）
・停電、断水
・
・大きな揺れは収まったが・・まだ揺れている
・建物は倒壊せず、被害は小さそうだ。
・設備・什器が転倒、散乱し負傷者が多数
・1名重傷
・煙も上がっている
・
・点呼したら行方不明者がいる

・津波警報解除まで12時間と仮定

（例）
・身の安全確保
・声かけ
・初期消火
・閉じ込め者救出
・安全措置
・（屋外避難？）
・搬送（だれがどの病院へ？）
・点呼・再捜索
・津波避難（近隣の方も？）
・・・・・・・・・・・・・・・・・・（30分）
・けが人の手当て
・家族の安否確認
・帰宅準備

職場の初動フローの洗い出し　２／４

２）30分～日暮れ

職場		本部	備考
・・・・			
残留	帰宅		
・・・・	・・・・		・・・・
・・・・	・・・・		・・・・
・・・・	・・・・		・・・・

事前に備えておくべき事項

（例）

・津波避難継続
　・けが人の手当て
　・家族の安否確認
　・灯り・暖・飲食糧
　・被害情報（ラジオ）

・その他の施設は
　・問い合せ対応
　・帰宅困難者対応
　・帰宅もあり

・・・・・・・・・・・・・・・・・・

（日没）

職場の初動フローの洗い出し　３／４

３）日暮れ～翌朝までに（夜明けに向けて）

職場	本部	備考
・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・		・・・・ ・・・・

（例）

・3時に津波警報解除

・

・

・その他の施設は？

・

・

・

・

職場の初動フローの洗い出し　４／４

４）翌朝～

職場	本部	備考
・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・		・・・・ ・・・・

（例）

・３時に津波警報解除として
　・帰宅開始
　・

・津波避難が不要なら
　・帰宅困難者の帰宅開始

・
・
・被災した同僚支援

初動対応の補足

●安全に屋外避難できますか？
・停電で避難できますか？
・扉は開きますか？
・参観者（こども）は？
・打合せにきた方は？

●地域の方の津波避難受入れは？

●物流車両は（構内？構外？）
・構内の車両はどうする？
※社外にいるものは戻ってくるな！

●夜勤の方への連絡は？

初動対応の補足

●負傷者への対応
- ・重傷者はどこの病院へどうやって？
- ・広域搬送？
  - ・だれがいつまで付き添う？
  - ・家族への連絡は？
- ・死亡していたら？（病院で）

●火災への対応
- ・初期消火はどこまで？失敗したら？
- ・屋外避難後に出火したら？

●閉じ込め者、不明者などへの対応
- ・社内にいたはずだが・・
  - ・再捜索の決定、指揮はだれが？

初動対応の補足

●帰宅判断と周知
・すぐに帰宅させるか？
・帰宅路の安全は？
・情報は？
・支援が必要な人は？
・負傷者、障害者、女性、ショックを受けている人
・帰宅後の報告は不要？

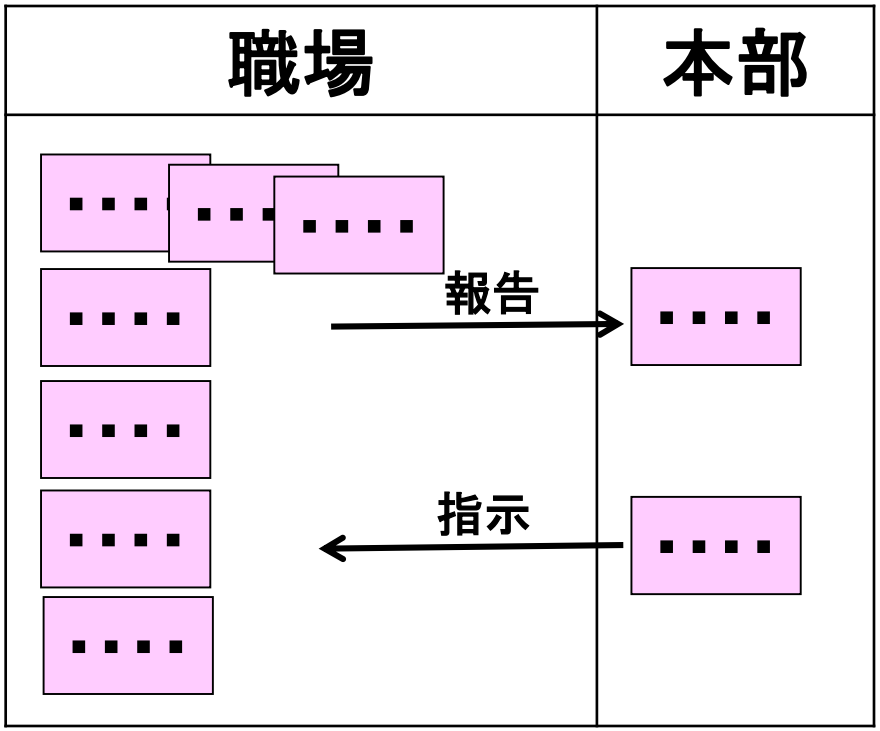
方面別帰宅

●帰宅困難者はどこで？
・余震が続くなかで？

●車いすの方は？

本部との連携

- 職場から本部へ
  - いつ、どんな報告を行うべきか？
- 本部から職場へ
  - 本部から、いつ、どんな情報がほしいか？

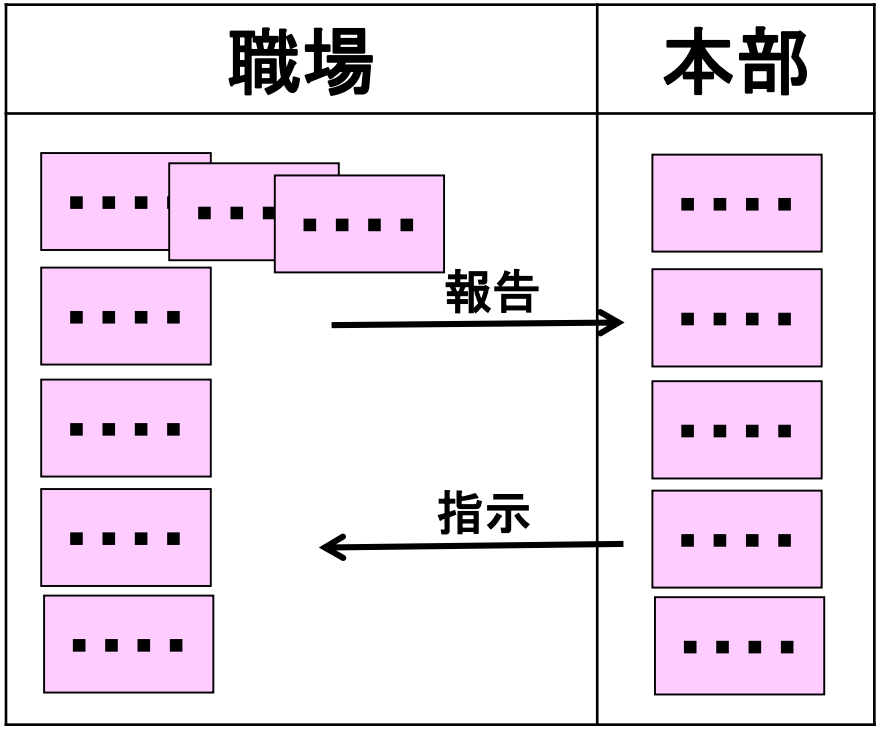


初動対応

1．職場の対応
2．本部の対応
3．地域貢献

本部の初動フローの洗い出し　１／４

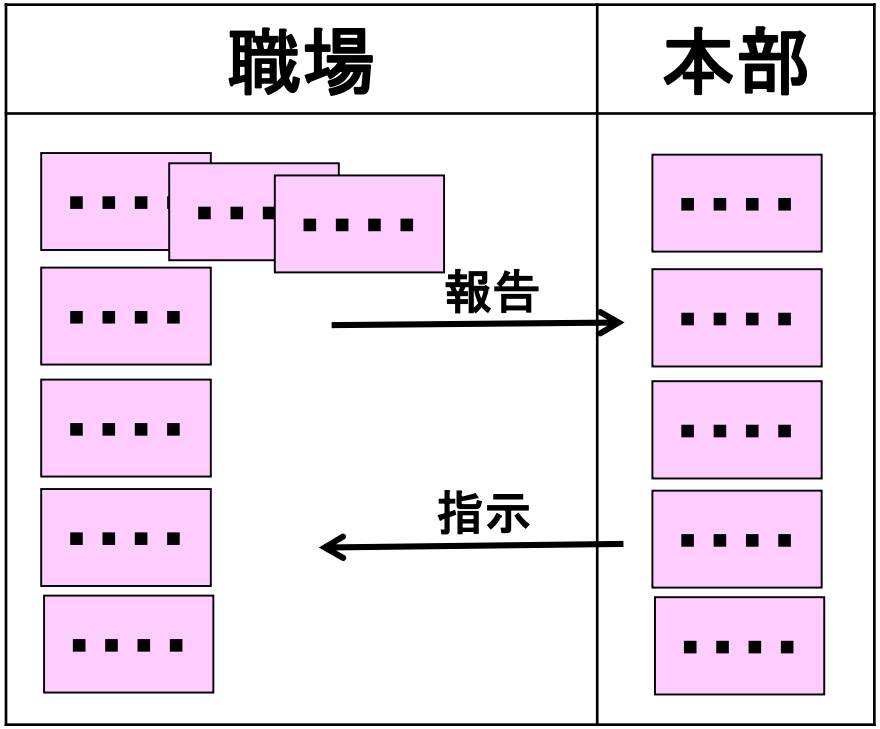
１）地震発生から30分以内



（例）
・参集
・
・
・救護所設置
・搬送（病院）
・
・
（津波避難）

本部の初動フローの洗い出し　２／４

２）30分～日暮れ



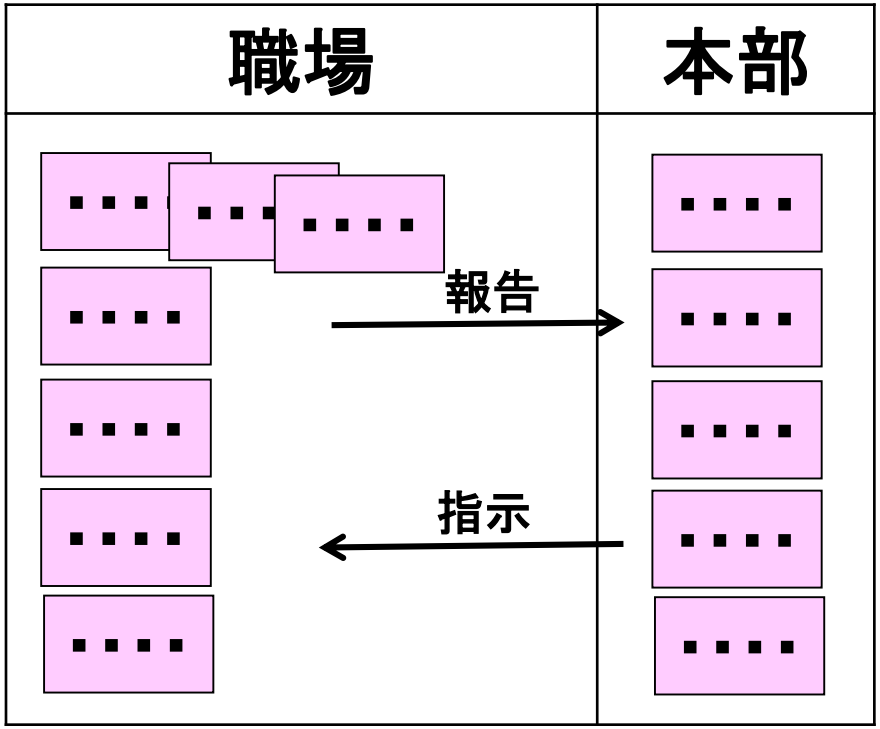
（例）

・津波避難継続なら
　・日暮に備えた準備

・津波避難が不要なら
　・業務停止期間判断
　・帰宅判断
　・帰宅困難者対応準備
　・保全・保安
　・連絡・広報
　・本部籠城者の決定

本部の初動フローの洗い出し　３／４

３）日暮れ～翌朝までに



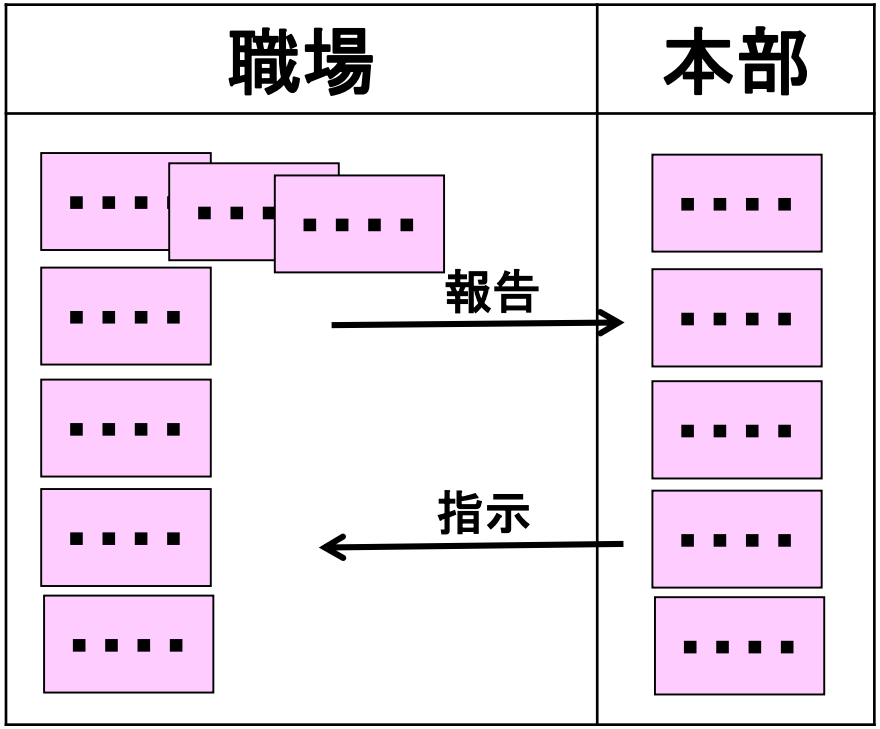
（例）

・３時に津波警報解除として
　・帰宅する準備
　・

・津波避難が不要なら
　・
　・
　・
　・

本部の初動フローの洗い出し　４／４

４）翌朝～



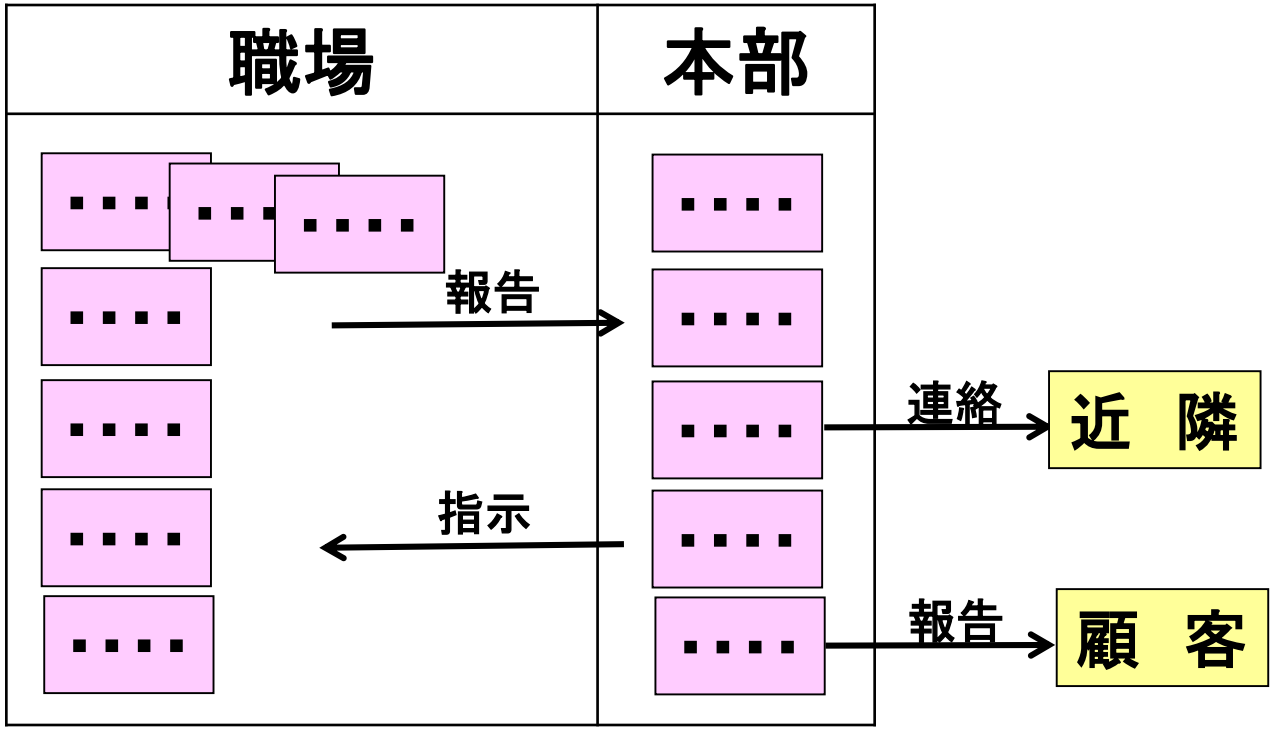
（例）

・３時に津波警報解除として
　・帰宅開始
　・籠城者は？

・津波避難が不要なら
　・帰宅困難者の帰宅開始
　・
　・
　・海外駐留社員の家族
　・不明社員の確認
　・被災社員の支援指示

外部との連携

外部との連絡
　・いつ、どこと、どんな情報を？



初動対応の補足

●拠点本部の立ち上げはいつ、だれが？
- ・最初は報告を受け、本社へ報告？
- ・室内、避難場所？
- ・地区本部員の集合はいつ？

●本部籠城者
- ・だれ？いつまで？
- ・ローテーションは？
- ・サポート要員は？

●被災社員支援
- ・不明者は？
- ・海外駐留者・出張者の家族の確認は？
- ・被災している社員への支援は？

●家族の疎開と復旧生活準備

社員が復旧作業に着手する時期は？

初動対応

1．職場の対応
2．本部の対応
3．地域貢献

地域貢献　1／2

●被災地にある事業所としてできる地域貢献は？

・最大の地域貢献は社員を安全に速やかに地域へ

・近隣には「物、場所」。可能であればマンパワーも

地域貢献（アルプス電気の事例）

通常の地域貢献に加えて

- ・ヘリポート用に工場グラウンド貸与
- ・遺体安置所として工場施設貸
- ・仮設住宅として独身寮貸与
- ・仮設住宅用地として工場内敷地貸与
- ・独身寮のお風呂を開放.....等

地域貢献　2／2

●勤務時間内発災では？

・消防車の出動
・社内の活動が終了したら自衛消防は地域の救出活動に出る？
・一時避難場所の提供

●勤務時間外では？

・消防車は出動できる？
・消火設備、救出資機材、AEDなどの貸与
・一時避難場所の提供

●長期的には？

・仮設住宅建設用地の貸与（～数カ月）
・風呂の開放
・給水支援などは？

自社の備えの中から
物・場所の貸与

自主防災組織との協力関係
自主防が工場火災鎮圧の例もある

初動対応の検討事例

作戦タイム
手順の確認

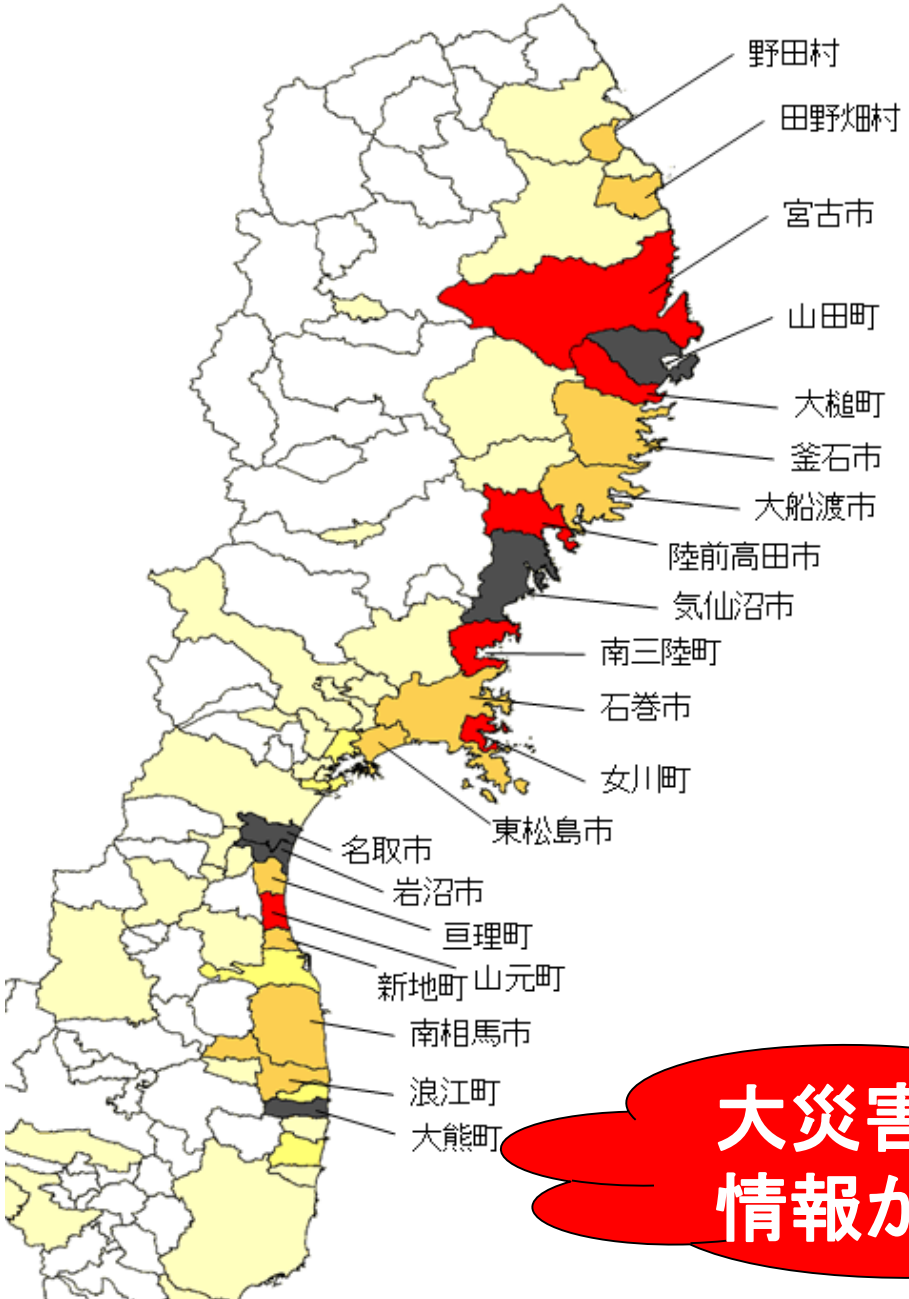
～30分

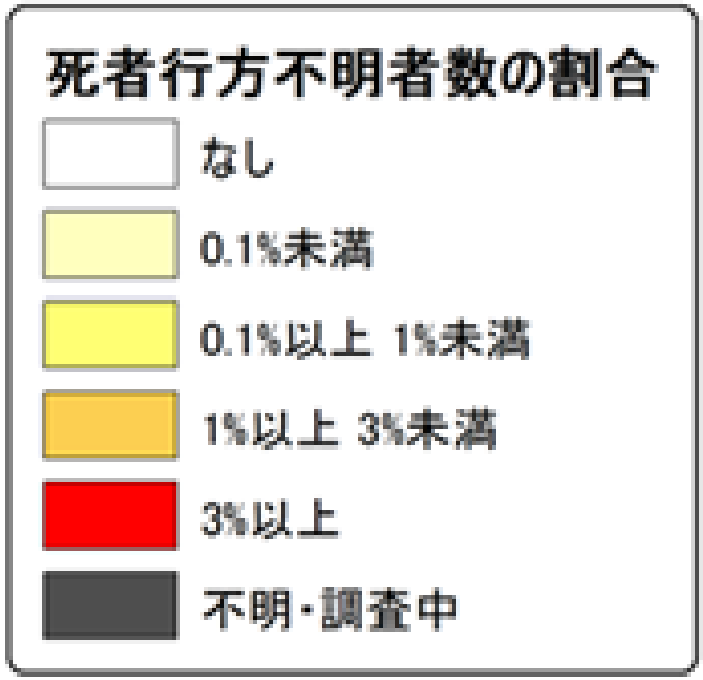
～日没

～翌朝

翌日～

被害が大きいところほど情報は来ない





消防庁被害報第74報（3月23日15時30分）を基に，被害の大きい市町村を特定することを目的に秦康範（山梨大学）が作成した．

大災害時は・・
情報が無い中の先読み！